

令和2年度高等学校等入試の推薦について

1 推薦制度の意味

入学試験では、多くの公立・私立・国立の高等学校等において「一般入試」と「推薦入試」という選抜方法がおこなわれています。公立高校の場合は「選抜Ⅰ」が推薦入試にあたります。

一般入試とは別に推薦入試を行っている理由は、

- ・生活、学習面とも高等学校等で頑張れる資質を十分に持った意欲ある生徒を優先的に受け入れたい。
- ・成績とあわせて、他の頑張りも評価して幅広い人材を受け入れたい。
などの思いがあるからです。

したがって、推薦入試で合格すると、必ずその進路先へ進学しなければなりません。

2 高等学校等の推薦基準

公立・私立・国立の各高等学校等では、上記のような生徒を受け入れていくために出願の基準(推薦基準)を設けています。それをクリアしている生徒の受験を認めるという基準です。共通的には、

- ・条件を満たし、進学後、卒業までの生活をまっとうできるだろうと中学校長が責任を持って推薦した者
- ・生活面、学習面で意欲・態度など前向きに頑張っている者
- ・「その高等学校等に行ってこんな力をつけていきたい。」といった確かな目的を持っている者
ということです。それ以外にも、
- ・成績による基準、欠席日数の基準、文化、スポーツ、生徒会、ボランティアなどの実績評価など、色々な基準を設けている高等学校等があります。受験を希望する人は、その基準を満たしているかどうか、担任の先生としっかり相談していくことが必要です。基準を満たしていなければ希望しても受験できません。

3 瀬戸田中学校の推薦基準

瀬戸田中学校では「校長が責任を持って推薦できる基準」を設けています。その基準の趣旨は『志望する高等学校等の推薦基準を満たし、瀬戸田中学校卒業生として、進学後の高等学校等で卒業するまでルールを守り生活面・学習面共に前向きに頑張れると見込まれる生徒を学校長として推薦する。』ということです。

そのために、志望する高等学校等の推薦基準を満たすとともに、本校の中学校生活で、

- | |
|--|
| <p>(1)【生活面】学校のきまりを守り、前向きな生活態度の積み上げができていないこと</p> <ul style="list-style-type: none">①頭髪・服装のきまり、その他学校生活でのルールを守って生活ができていて、ほとんど注意を受けていない。②無断欠席・遅刻をしない。③先生の注意・指導に対しては素直な受け止めができ、直し、向上させようとしている。④生徒会・学年・学級での活動、部活、地域でのボランティア活動等々様々な生活場面で前向きに頑張ろうとする意欲や態度が見られる。 <p>(2)【学習面】学習に意欲を持って取り組んでいること</p> <ul style="list-style-type: none">①授業に集中して取り組めており、学習態度(ノートをとることや私語をしないこと、学習用具をそろえていることなど)が前向きである。②宿題や提出物などやりきる努力を積み上げている。とりわけ、各教科の提出物についてはすべて提出している。 |
|--|

という点を基準にして総合的に判断し、推薦を決定します。

※なお、推薦決定後、卒業まで上記の推薦基準を守って行動しなければいけない。

4 瀬戸田中学校の推薦決定の手順

希望者に対する推薦の決定は次のようにおこないます。

- ①推薦を希望する生徒は、できるだけ早く担任に相談をし、アドバイスを受ける。
- ②10月に、希望者は担任との相談を踏まえて校長あてに学校所定の「推薦願」を提出する。
- ③11月の三者進路懇談前に、2と3の推薦基準にてらして検討する。その結果を受けて校長が推薦者を決定する。
- ④推薦決定者には校長名で「推薦決定通知」を渡す。

推薦基準は、推薦入試を受ける人だけでなく、義務教育を修了し、就職・進学をするすべての人にしっかり身につけて欲しい基準を示しているといえます。今の自分を見つめ、高等学校等や社会に出て行ったときに通用する力を、確かに身につけていきましょう。